

Professional
Esthetic
YA-MAN

ヤーマン株式会社
2011年4月期 中間報告書

YA-MAN REPORT

2010.5.1 - 2010.10.31

[証券コード：6630]

トップメッセージ

当上期の事業環境と業績について

株主の皆様には、平素より格別のご高配、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ここに2011年4月期上期（2010年5月1日から2010年10月31日までの第2四半期累計期間）のYA-MAN REPORTをお届けし、当第2四半期連結累計期間の経営成績などについてご報告いたします。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、足元に持ち直しの動きが見られるものの、周辺環境は厳しさを増しており、依然として予断を許さない状況で推移しております。

このような状況の下、当社グループは、高機能性を重点的に謳い、インフォーマーシャル*や雑誌その他の媒体で積極的に広告宣伝を行った脱毛器が売上伸長に大きく寄与した他、安定した売上となった化粧品や瘦身アイテムも下支えとなり、前年同期を上回る売上高を達成いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は

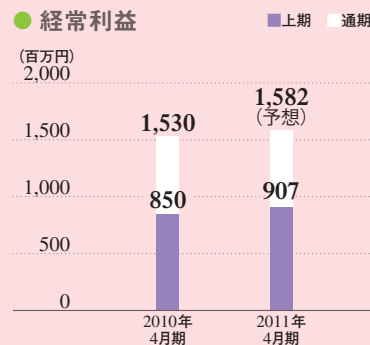
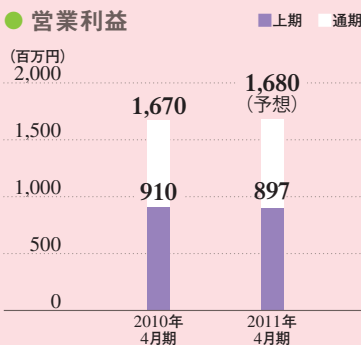
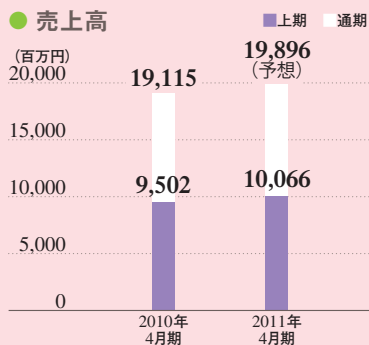


代表取締役社長
山崎 貴三代

10,066百万円（前年同期比5.9%増）、経常利益は907百万円（前年同期比6.8%増）、四半期純利益は503百万円（前年同期比9.6%増）となりました。

* インフォーマーシャルは、インフォメーションとコマーシャルを合わせた造語であり、欧米で登場したテレビショッピングの手法です。

連結財務ハイライト



通期の見通しについて

第3四半期以降については、通販、店販、直販の各部門でバランス良く販売促進活動を展開するとともに、ヤーマンブランドの消費者への浸透とブランドイメージの向上のため、引き続き種々の施策を講じていく予定です。

通期の見通しにつきましては、2010年4月期決算発表時(2010年6月11日)に公表した通期業績予想に変更はなく、下記の通りとなります。

● 2011年4月期連結業績予想

	(単位:百万円)	前期比
売上高	19,896	4.1%増
営業利益	1,680	0.6%増
経常利益	1,582	3.5%増
当期純利益	891	4.5%増

株主様への利益還元について

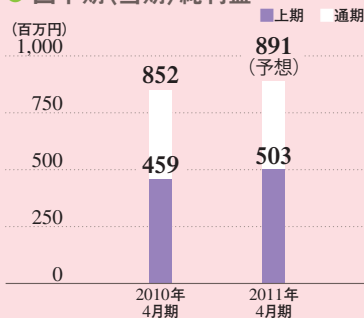
中間配当につきましては、今後の事業展開や内部留保の状況等を踏まえ、株主の皆様への利益還元の観点から、当初予想通り1株当たり23円とさせていただきます。また、期末配当金につきましては、1株当たり23円を予定しており、年間ベースでは前期と同じく1株当たり46円とする方針です。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

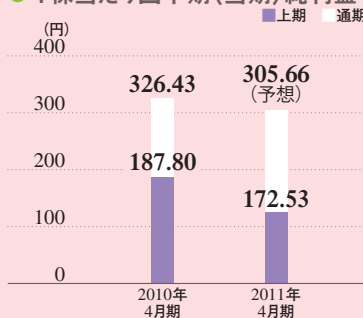
配当金のお支払いについて

2011年4月期(2010年5月1日から2011年4月30日まで)中間配当金は同封の配当金領収証により、払渡期間(2011年1月11日から2011年2月14日まで)内にお受け取りください。また、配当金の口座振込をご指定の方には「配当金計算書」および「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封いたしましたので、ご確認ください。

● 四半期(当期)純利益

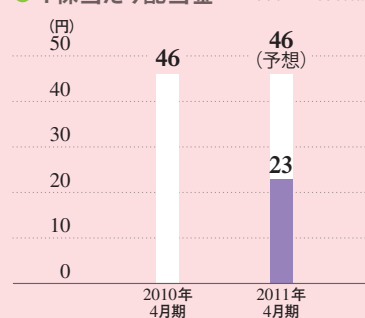


● 1株当たり四半期(当期)純利益



Financial Highlights

● 1株当たり配当金



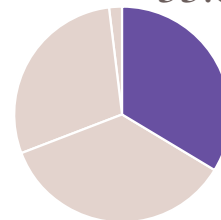
通販部門

主に雑誌やテレビを利用した通信販売事業者向け卸売事業

●売上高 3,399百万円 ●セグメント利益 1,234百万円

春先から好調を維持していた脱毛器「no! no! HAIR」シリーズが引き続き地上波テレビ通販で好調であったこと、機能性靴「ダブルエア」「トリプルエア」がショッピングチャンネルで順調に取り上げられ堅実に推移したことなどから、売上高は3,399百万円、セグメント利益は1,234百万円となりました。

売上高構成比 33.8%



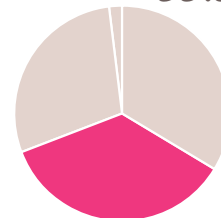
店販部門

主に家電量販店やバラエティショップ向け販売事業

●売上高 3,571百万円 ●セグメント利益 1,505百万円

脱毛器「no! no! HAIR」シリーズが猛暑の影響により秋口まで非常に好調に推移したこと、新規に取り扱いを開始した美顔器「プラチナホワイト フォトミスト」が想定を大幅に超える引き合いを得たこと、バラエティショップ向けの化粧品について店舗とのコラボ企画や限定セットの積極投入が奏功したことなどから、売上高は3,571百万円、セグメント利益は1,505百万円となりました。

売上高構成比 35.5%



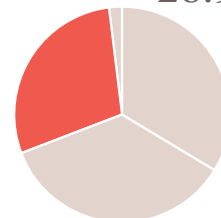
直販部門

インフォーマーシャルや雑誌、新聞、WEB等の媒体利用による個人向け直接販売事業

●売上高 2,911百万円 ●セグメント利益 79百万円

美顔器「プラチナゲルマローラー」のリニューアル品である「プラチナゲルマローラープロ」の販売開始に至ったものの、インフォーマーシャル映像の制作完了遅れが売れ行きに影響した一方、リピート需要が期待できる化粧品「オンリーミネラル」シリーズが堅調に推移したこと、脱毛器「no! no! HAIR」シリーズについて雑誌媒体で安定したレスポンスがあったことなどから、売上高は2,911百万円、セグメント利益は79百万円となりました。

売上高構成比 28.9%



四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 2010年10月31日現在	前期 2010年4月30日現在
資産の部		
流動資産	9,594	10,604
固定資産	981	942
有形固定資産	568	572
無形固定資産	245	217
投資その他の資産	166	152
資産合計	10,576	11,546
負債の部		
流動負債	3,881	4,712
固定負債	1,374	1,880
負債合計	5,255	6,593
純資産の部		
株主資本	5,331	4,962
資本金	1,813	1,813
資本剰余金	1,313	1,313
利益剰余金	2,204	1,835
自己株式	△0	—
評価・換算差額等	△11	△9
その他有価証券評価差額金	△0	0
為替換算調整勘定	△11	△9
純資産合計	5,320	4,953
負債純資産合計	10,576	11,546

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 自 2010年 5月 1日 至 2010年 10月31日	前第2四半期連結累計期間 自 2009年 5月 1日 至 2009年10月31日
売上高	10,066	9,502
売上原価	4,041	3,584
売上総利益	6,024	5,918
返品調整引当金戻入額	140	130
返品調整引当金繰入額	112	124
差引売上総利益	6,052	5,924
販売費及び一般管理費	5,155	5,013
営業利益	897	910
営業外収益	54	5
営業外費用	44	66
経常利益	907	850
特別利益	4	—
特別損失	13	7
税金等調整前四半期純利益	898	842
法人税等	394	383
少数株主損益調整前四半期純利益	503	—
四半期純利益	503	459

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 自 2010年 5月 1日 至 2010年 10月31日	前第2四半期連結累計期間 自 2009年 5月 1日 至 2009年10月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,801	381
投資活動によるキャッシュ・フロー	△85	△62
財務活動によるキャッシュ・フロー	△667	△38
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11	0
現金及び現金同等物の増減額	△2,566	280
現金及び現金同等物の期首残高	4,385	3,405
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,819	3,685

新製品・商品紹介 & トピックス

ホームエステの新シリーズが誕生

『プラチナホワイト』シリーズ

新機種3種の販売を開始し、
ホームエステ市場のニーズを深耕

ホームエステ志向の高まりを受けて、2010年秋冬の新商品として、日常生活の中で手軽に本格的なケアのできる「プラチナホワイト」シリーズを立ち上げました。2010年9月1日から、ナノサイズのみストによる潤い補給とLED光エステによるフォトフェイシャルのできる携帯型の保湿美顔器「プラチナホワイト フォトミスト」、超音波とイオン導出入に加え、三角ヘッドでアイケアを可能にした超音波美顔器「プラチナホワイト ソニック」、EMS*（筋肉刺激）と超音波の2つの機能を搭載し、入浴中にも使える痩身器「プラチナホワイト スリム」と、注目度の高い3機種の発売を開始しています。

この新シリーズでは、「プラチナガールズ」をイメージキャラクターとし、家電量販店・バラエティショップ店頭でのプロモーションに活用。また、雑誌・WEB広告、インフォマーシャルなどでも販売を展開していきます。

* EMSとは、Electrical Muscle Stimulationの略で、運動神経に電流を流すことで筋肉を刺激し、効率よく筋肉を鍛える運動法をいいます。



プラチナホワイト フォトミスト
携帯型のナノミスト美顔器
肌に潤いを与える



プラチナホワイト スリム

入浴中に使用できるEMS*（筋肉刺激）と
超音波搭載の美顔器



プラチナホワイト ソニック
超音波美顔器と
イオン導出入が一台に

大丸東京店で展開する「オンリーミネラル」初の直営店

オンリーミネラルショップが正式オープン

百貨店内でのカウンセリング販売強化で認知度の向上と顧客層の拡大を目指す



肌に優しいファンデーションとして注目を集める「オンリーミネラル」初の直営店であるオンリーミネラルショップが、大丸東京店に登場しました。2010年8月18日から期間限定で展開し、11月1日から正式オープンとなりました。

アメリカでのミネラルファンデーションのヒットを受け、日本人向けに開発した製品で、複数媒体でのキャンペーン展開を図り、売上を拡大しています。販売チャネルを百貨店にも広げることで顧客層の拡大を図るとともに、個別カウンセリングを強化することで製品への認知を高め、リピーター獲得を狙います。

また、関西地区でも大丸梅田店で9月26日から期間限定ショップを展開。11月30日から正式オープンしています。

第32回「読者が選ぶ・講談社広告賞」

特別賞部門 最優秀賞を受賞

媒体連動により、イメージ訴求から販売強化までを展開

「読者が選ぶ・講談社広告賞」は、雑誌広告の質の向上に寄与することを目的に、講談社発行の雑誌に掲載された広告の中から読者投票により選出される講談社広告局主催の広告賞です。

当社では、コンパクトなビジュアルながら「抜かない! 剃らない! 痛くない!」という3つの特長を備えた新発想の脱毛器「no! no! HAIR」と、人気アニメ「のだめカンタービレ」とを連動させたプロモーションを実施し、雑誌誌面だけでなく、店頭販促・キャンペーンなどをリンクさせ、イメージ訴求から販売強化までを目的として展開しました。

今回の受賞の喜びを糧に、美と健康をサポートし続ける企業として、お客様のニーズに沿った商品のご提供に、より一層の努力をしております。

当社公式直販サイト

「ヤーマンダイレクト」

<http://www.ya-man.com/shop/>

ご自宅のパソコンや携帯電話から、WEB上で当社製品・商品をご購入いただける直販サイトを運営しております。新製品・商品の直販や会員向けキャンペーンの開催など、サービスを拡充。美容健康機器、化粧品など、代表的な製品・商品ブランド別の公式直販サイトも紹介しております。

モバイルサイト

<http://www.ya-man.com/shop/m/>

会社概要 (2010年10月31日現在)

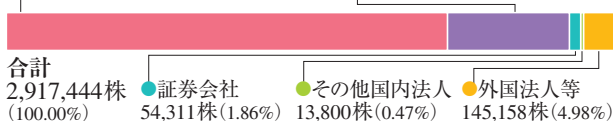
商号	ヤーマン株式会社
設立	1978年(昭和53年)5月27日
資本金	1,813百万円
従業員	121名(単体)、123名(連結)
事業内容	美容健康機器の研究開発・製造・輸出入販売、化粧品の入販、生活雑貨の販売

株式の状況 (2010年10月31日現在)

発行可能株式総数	9,777,776株
発行済株式総数	2,917,444株
株主数	1,492名
単元株式数	100株

所有者別分布状況

●個人・その他 2,118,331株(72.61%) ●金融機関 585,844株(20.08%)



大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
山崎 行輝	664,780	22.79
株式会社日本政策投資銀行	444,444	15.23
山崎 静子	297,720	10.20
山崎 貴三代	178,880	6.13
山崎 光英	122,680	4.21
Victoria Yamazaki	104,000	3.56
山崎 知美	104,000	3.56
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	81,500	2.79
山崎 岩男	73,680	2.53
松本 行雄	53,980	1.85

役員一覧 (2010年10月31日現在)

代表取締役会長	山崎 行輝	常勤監査役	岩崎 榮治
代表取締役社長	山崎 貴三代	監査役	榑原 純一
取締役副社長	伊藤 千保美	監査役	山田 勝利
取締役	山崎 岩男	監査役	亀岡 義一
取締役	高橋 満		
取締役	宮崎 昌也		
取締役	戸田 正太		

株主メモ

事業年度	毎年5月1日から翌年4月30日まで
定時株主総会	毎年7月
基準日	定時株主総会 4月30日 期末配当金 4月30日 中間配当金 10月31日

公告方法 電子公告。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載。

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の
全国各支店並びに日本証券代行株式会社の
の本店及び全国各支店で行っております。

■住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

■未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。